

## 【農林水産大臣賞】

農家の部

愛知県西尾市

うちだ しゅうじ うちだ せいこ  
内田 修二、内田 聖子 氏



## 1 地域の概要

愛知県西尾市は、名古屋市の南東約35kmの位置にあり、市域の西に矢作川が流れ、南に三河湾を臨み、東部には三ヶ根山に連なる山地となっている。人口は、17万人で自動車産業に関連する事業所が集積している。

## 2 地域農業の概要

愛知県西尾市は、年間平均気温16°Cと温暖で、降水量も1,200mmあり農業生産の条件は良い。

県内でも農業が盛んな地域であり、農業産出額は、168億円で県内市町村では第4位、全国でも115位に位置する。

主な作物は、バラなどの施設花き、きゅうり・いちごなどの施設野菜のほか、抹茶の原料となる碾茶は、特産として全国的に知られている。水田作は、矢作川左岸に広がる沖積平野と古くから新田開発された干拓地を中心として行われている。



図1 営農を行う西尾市寺津地区の位置

## 3. 内田氏の経営概要

経営主の内田修二氏は、愛知県西尾市寺津地区で大規模で効率的な営農を行う水田作専作農家である。平成5年に就農し、営農経験は26年になる。労働力は、家族4名と従業員1名である。平成30年の作付け実績は、水稻45.3ha、小麦38.2ha、大豆34.3haであった。

令和元年産小麦では、33.0haを作付ける日本めん用小麦「きぬあかり」の単収が701.7kg(県平均549kg)、2.6haを作付けるパン・中華めん用小麦「ゆめあかり」648.5kg(同608kg)と県平均を大きく上回る単収を上げ、たんぱく質含量10.7%('きぬあかり')、12.3%('ゆめあかり')、一等比率97%、所得率50.1%と栽培技術・経営力の高さを示している。

氏は、これまでJA稻作青年部の会長やJA西三河農作業受託部会(以下、受託部会)に所属して各種の研究活動や新品種等の現地実証に携わるなど組織活動にも熱心で、これらの活動をとおして水田作農家としての信望も厚く、地域の営農に与える影響が大きい存在である。

表1 西尾市の農業

区分	産出額(千万円)
米	214
麦・大豆	42
野菜	349
果実	64
花き	352
工芸作物	61
畜産	545
その他	52
農業産出額合計	1,679

平成27年市町村別農業産出額

## 4. 技術上の特色

### (1) 基本技術の励行

安定した生産のため、土壤改良材の施用、排水対策の徹底、適期播種など、基本技術を綿密な作業計画に基づき確実に実施している。また、

毎月開催される受託部会の全体会議には欠かさず出席し、JAや普及指導センターの栽培管理情報（病害、生育、施肥等）など最新の情報を入手するとともに同業者との情報交換を栽培管理に役立てている。

2018												2019											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水稻 4,526a												小麦 3,556a 飼料稻 270a											
小麦 3,815a 飼料稻 445a												大豆 3,258a											
水稻 4,730a	小麦											水稻 4,730a	小麦										

図2 各作物の栽培面積と作付け体系

### (2) 省力技術の導入

播種作業では、アップカットロータリーを使用した耕起・施肥・播種同時作業技術を導入することで作業時間の大幅な短縮を実現している。また、無人ヘリコプターの導入も他に先駆けて行っている。

### (3) 低コスト生産の追求

過剰な機械投資を抑え、必要最低限の装備を心がけている（表2）。生育に合わせた追肥の実施や追肥に単肥を用いるなど投入資材費の低減にも努めている。また、氏の栽培体系では、除草剤を散布していない。アップカットロータリーによる耕起で、表土が完全に反転し、雑草種子が深くすきこまれることで雑草の発生を抑えているため、播種後の除草剤散布を省略することができている。この効果は、10 a 当たりの農業薬剤費が全国平均の29%に表れている。

表2 小麦 60kg 当たりの経営費

	内田氏	全国
種苗費	214 円	499 円
肥料費	1,028	1,388
農業薬剤費	213	732
光熱動力費	82	302
その他の諸材料費	54	82
土地改良及び水利費	19	88
賃借料・料金	981	2,022
物件税・公課諸負担	97	168
農機具費	936	1,425
建物費	118	139
自動車費	323	198
雇用労働費	492	98
支払利子	8	32
支払地代	676	561
雑費	434	0
合 計	5,675 円	7,734 円

注：全国平均は、平成29年営農類型別経営統計個別経営水田作経営の20ha以上の数値

## 5. 収量の向上、品質改善

前述のとおり令和元年産小麦の単収は、「きぬあかり」701.7kg、「ゆめあかり」648.5kgであった。高単収・高品質を得るために、毎年100%の種子更新を行っているが、その他の事項として以下の取組みがある。